



交通インフラDX推進コンソーシアム

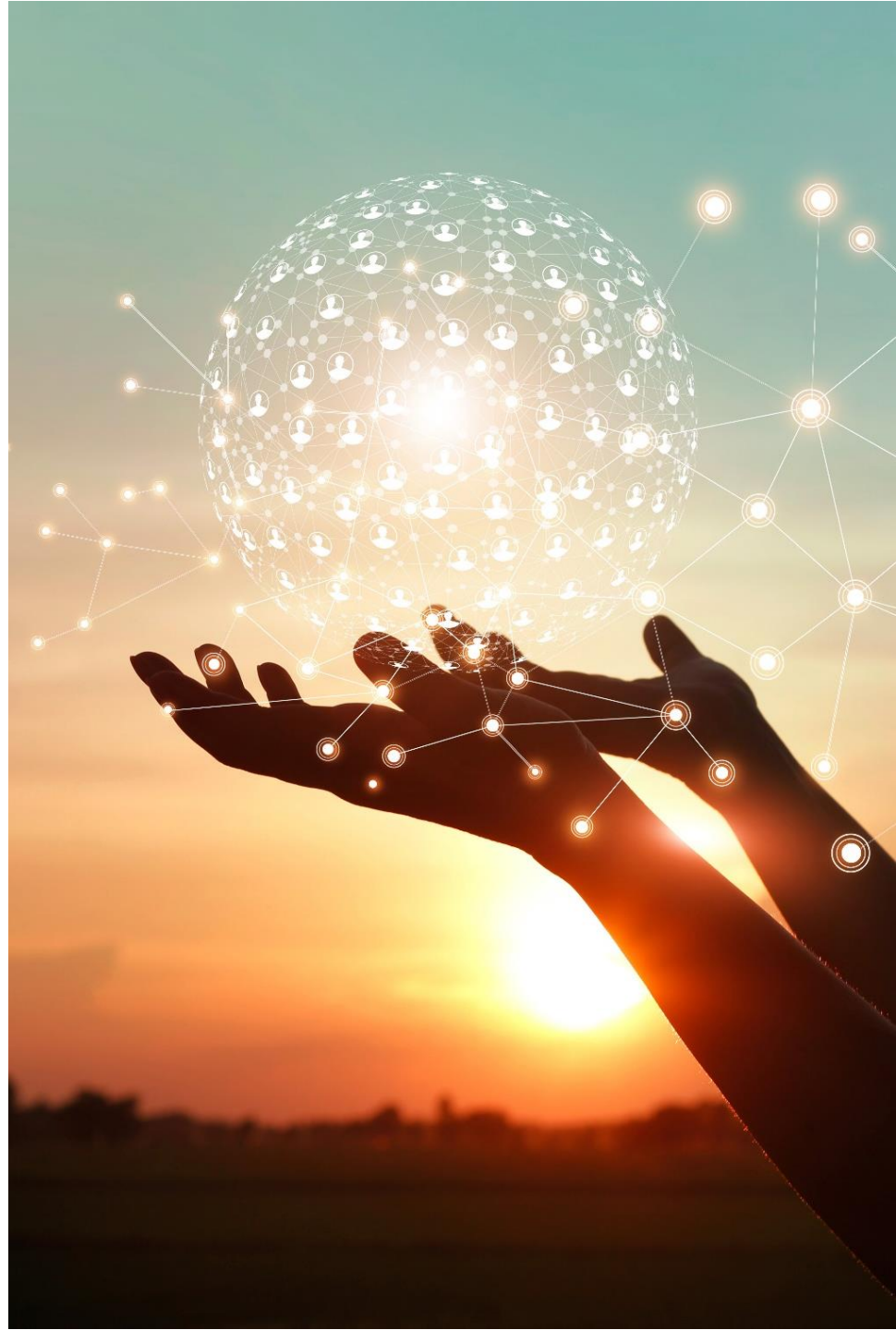
Consortium for DX Promotion by Utilizing Traffic Management Infrastructure

アジェンダ

01. コンソーシアム設立の背景

02. コンソーシアムの概要

03. FAQ



01. コンソーシアム設立の背景

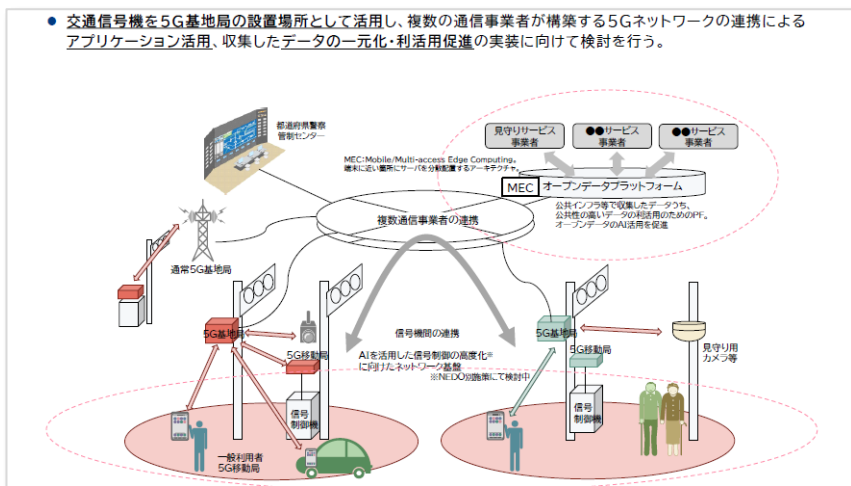
02. コンソーシアムの概要

03. FAQ



本コンソーシアム設立の背景

- 令和1年度から3か年の官民研究開発投資拡大プログラム(以下PRISMという)の「交通信号機を活用した5Gネットワーク(以下信号5Gという)」において、交通信号機への5G基地局の設置による5Gエリアの拡充及び交通信号機の集中制御化の促進に向け、技術や制度の検討を推進。
- 更に、令和3年度の社会実装WGにおいて、信号5Gで収集したデータの活用に対する社会ニーズや社会価値創出・社会課題解決への有効性について検証し、継続し議論の深堀の必要性を合意。



引用：社会実装WG第1回資料

● サワーキングにて議論した対策方針案を時間軸観点で整理すると、「直近」の①-1、②-1については既に検討が進んでいる第三者機関で進め、「短期～中長期」の①-2、③-1、③-2については、議論の深堀が必要のため、来年度以降も継続検討をする体制を用意すべきである。

	①基地局設置	②信号機NW化	③アプリケーション活用
第三者機関候補の企業で継続協賛中 直近	①-1 信号機への5G置局	②-1 5G等を活用した交通管制用ネットワークサービス	
短期～中長期 社会実装に向けた議論の深堀が必要	①-2 柱の高度化(センサ、無線機などの拡張性高い柱)	将来的に、必要に応じて検討	③-1 交通管制・信号情報通信 ・環境センサ情報の遠隔監視 ・センサ等の交通管制等への活用 ・信号情報配信サービス ③-2 情報提供ニーズへの対応 ・災害時の被害状況見える化 ・交差点価値向上 ・インフラ協調型モビリティサービス ・安全・安心領域への5Gネットワーク活用

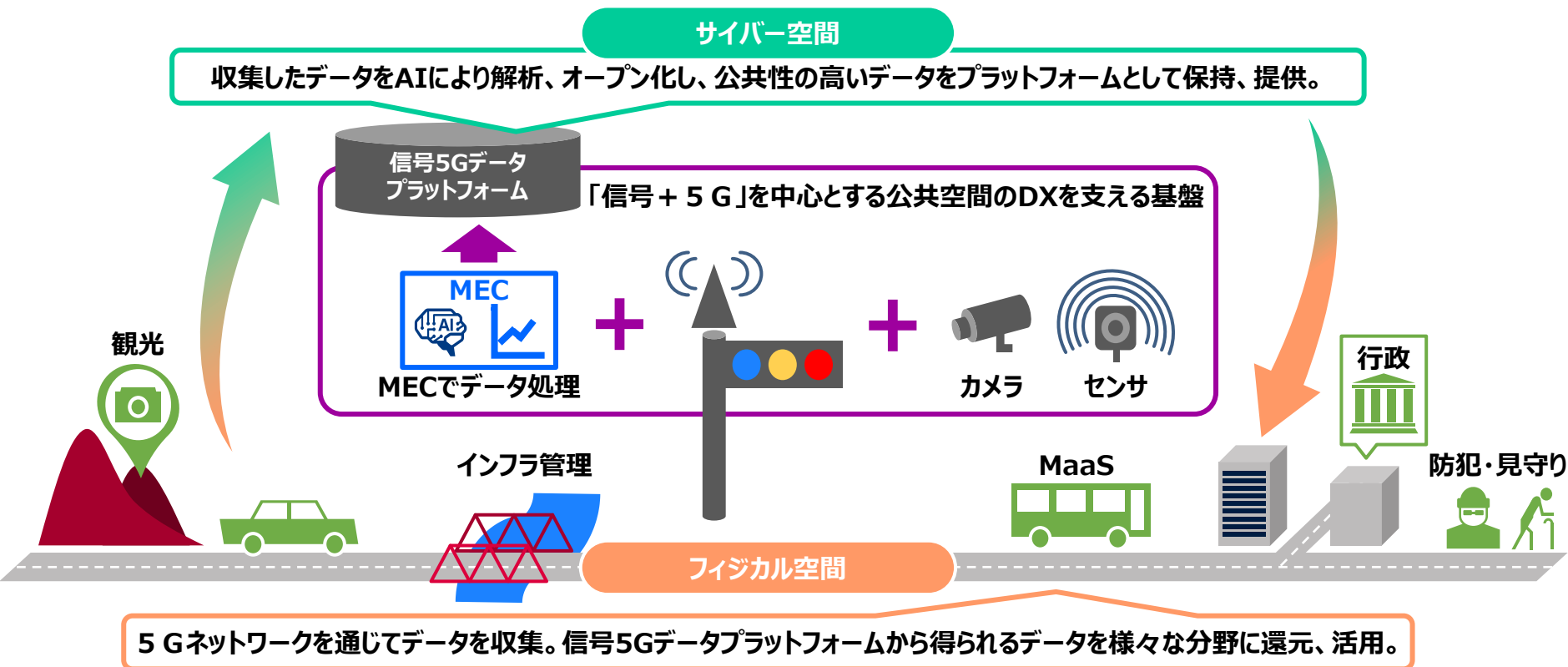
※②の「短期～中長期」部分は、警察との連携の下に検討を進めていくことが不可欠。

引用：社会実装WG第3回資料

信号5Gの価値最大化及び社会実装の推進に向けて、コンソーシアムを設立

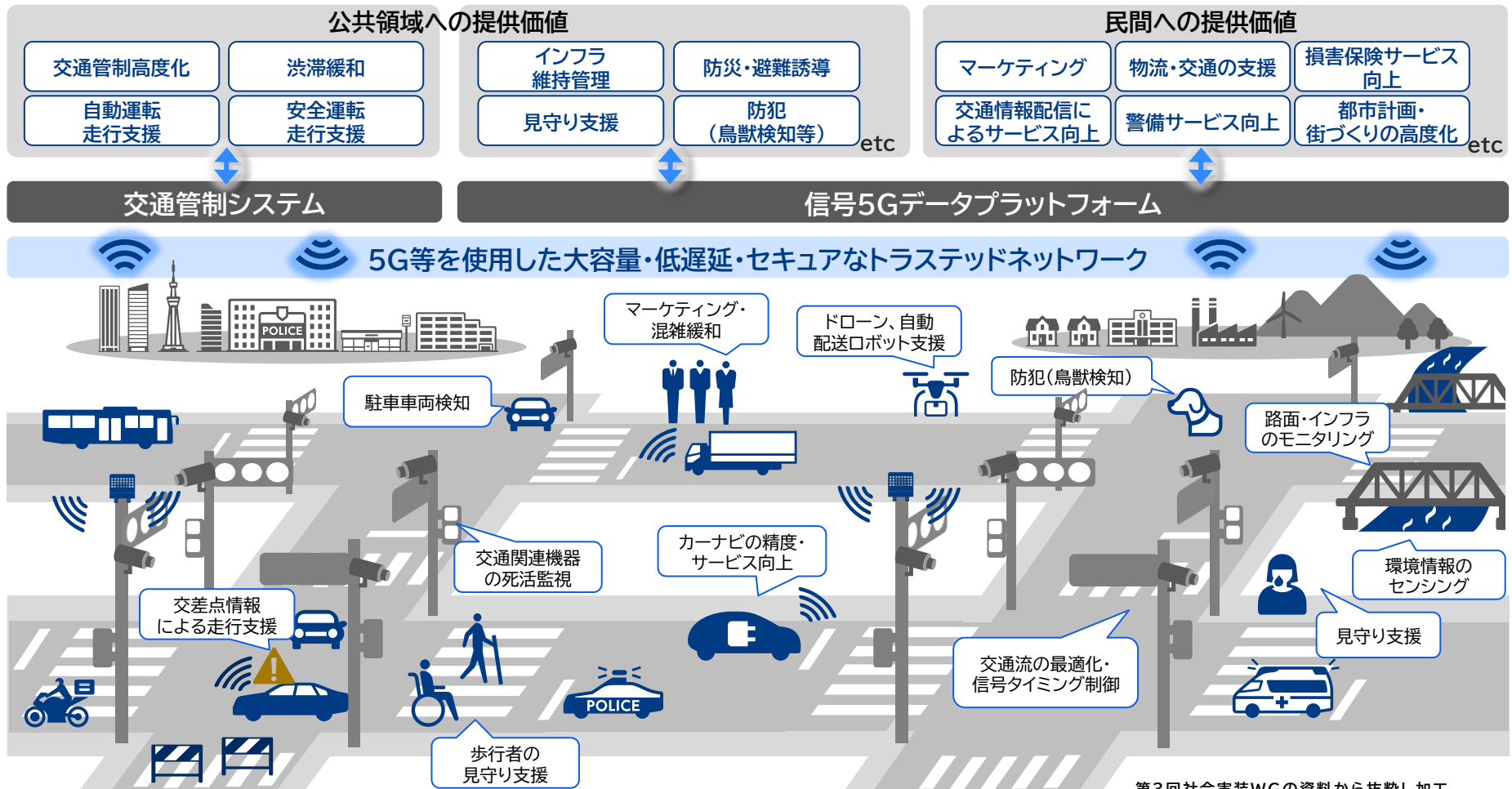
【参考】信号5Gの概要

- 地方創生や環境保全など社会課題の解決には、多様な移動需要に柔軟に応えられる交通社会の実現をはじめとする都市のDX化が重要。
- そのためには、ヒトが移動する空間全体の5Gエリア化が不可欠であり、カメラやセンサなどの併設により得られる様々なデータをAIで解析し、利活用することで、様々な分野への波及が考えられる。



【参考】PRISM社会実装WGにてまとめた目指す世界観のイメージ

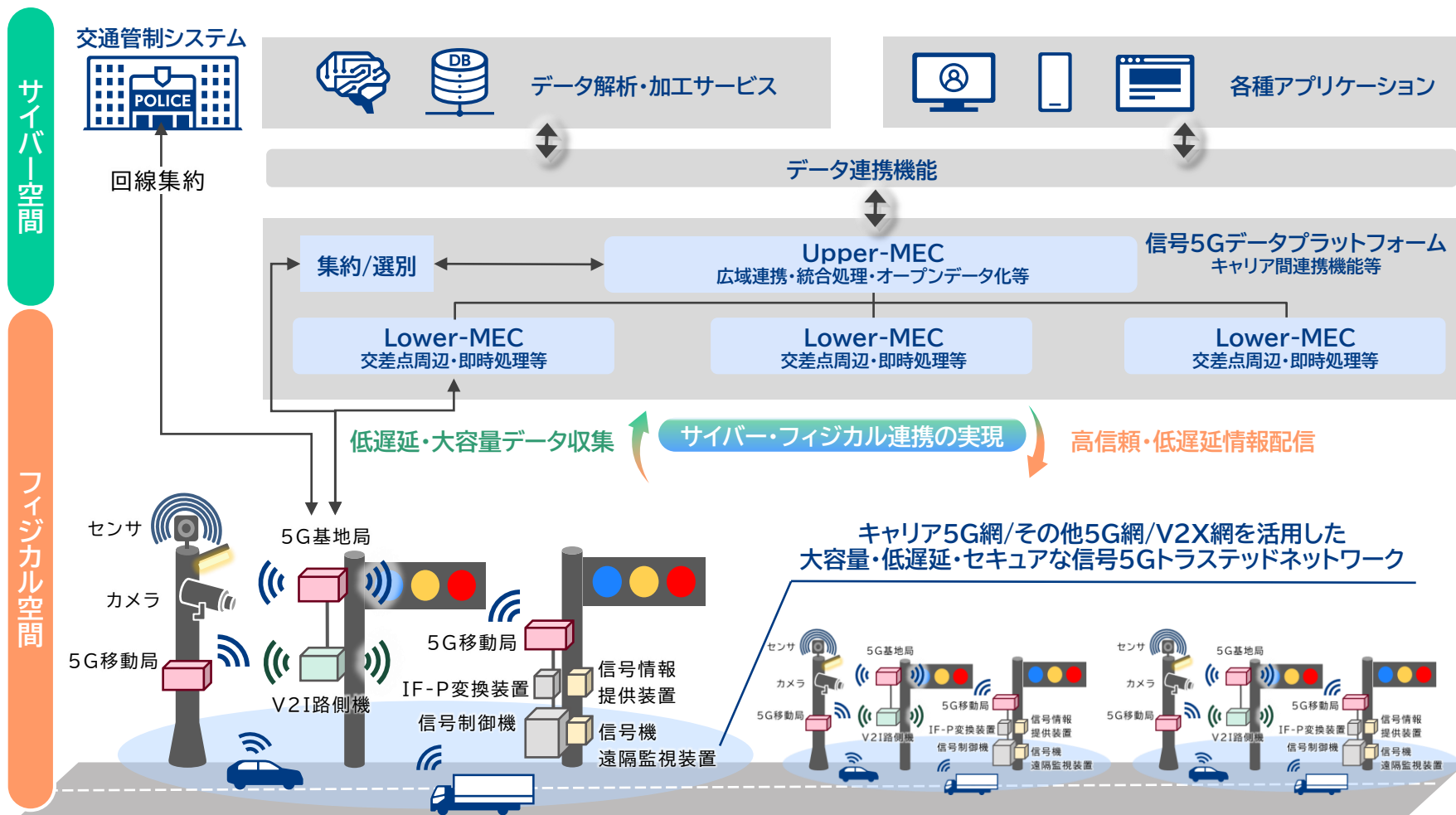
- PRISM社会実装WGを通して、交通分野での活用だけでなく、他分野活用(地域経済活性化、新産業創出、QOL向上等)までを含めて、社会価値創出・社会課題解決への有効性があることを検証できた。



第3回社会実装WGの資料から抜粋し加工

【参考】PRISM社会実装WGにてまとめたシステムアーキテクチャ(想定)

- PRISM社会実装WGでのヒアリング結果と各社提案のユースケースから整理した必要な機能や設備を踏まえて、想定されるシステムアーキテクチャを作成した。



01. コンソーシアム設立の背景

02. コンソーシアムの概要

03. FAQ



本コンソーシアムが目指す社会

交通インフラのDXによる、人・モビリティ・インフラが協調した 人生100年時代の安全安心で豊かに暮らせる持続的な交通社会の実現

事故や移動難民を低減し、
安全安心かつ適切な交通を
平等に利用できる社会



交通や生活インフラを
機能的・効率的に運用する社会



カーボンニュートラルの実現や
災害や気候変動に強い
まちづくりを促進する社会



本コンソーシアムの概要

交通インフラのDXによる、人・モビリティ・インフラが協調した
人生100年時代の安全安心で豊かに暮らせる持続的な交通社会の実現

社会価値創出・社会課題解決

公共サービス



民間サービス

小売・流通・マーケティング

交通インフラのDX推進に向けた活動

柱の高度化

交通インフラDX推進コンソーシアム

交通管制・
信号情報の配信

データ利活用ニーズ
への対応

損保・警備

産

学

官

まちづくり
(カーボンニュートラル・災害対策)

交通管制高度化・渋滞緩和
安全運転・自動運転

インフラ維持管理

見守り・防災・避難誘導

設立趣意と活動概要

設立趣意

- 交通信号機を活用した5Gネットワークを社会基盤とした新たな価値創出・社会課題解決の実現に向けて、政府の「交通信号機を活用した5Gネットワークの構築」にて議論を実施した結果、民間のみならず、関連省庁・関連団体や大学のノウハウ・知見をいただき、中長期的な観点で継続協議の必要性があるとの考えにご賛同いただくこととなりました。
- 「交通信号機を活用した5Gネットワークの構築」でのこれまでの検討内容を踏まえ、公共インフラである交通信号機の活用による5Gネットワークを軸とした、柔軟性かつ拡張性を持った新たなDX基盤やアプリケーションの社会実装による人・モビリティ・インフラが協調した人生100年時代の安全安心で豊かに暮らせる持続的な交通社会の実現に向けた検討・対外活動を推進することを目的とし、**交通インフラDX推進コンソーシアム**を設立いたします。

活動概要

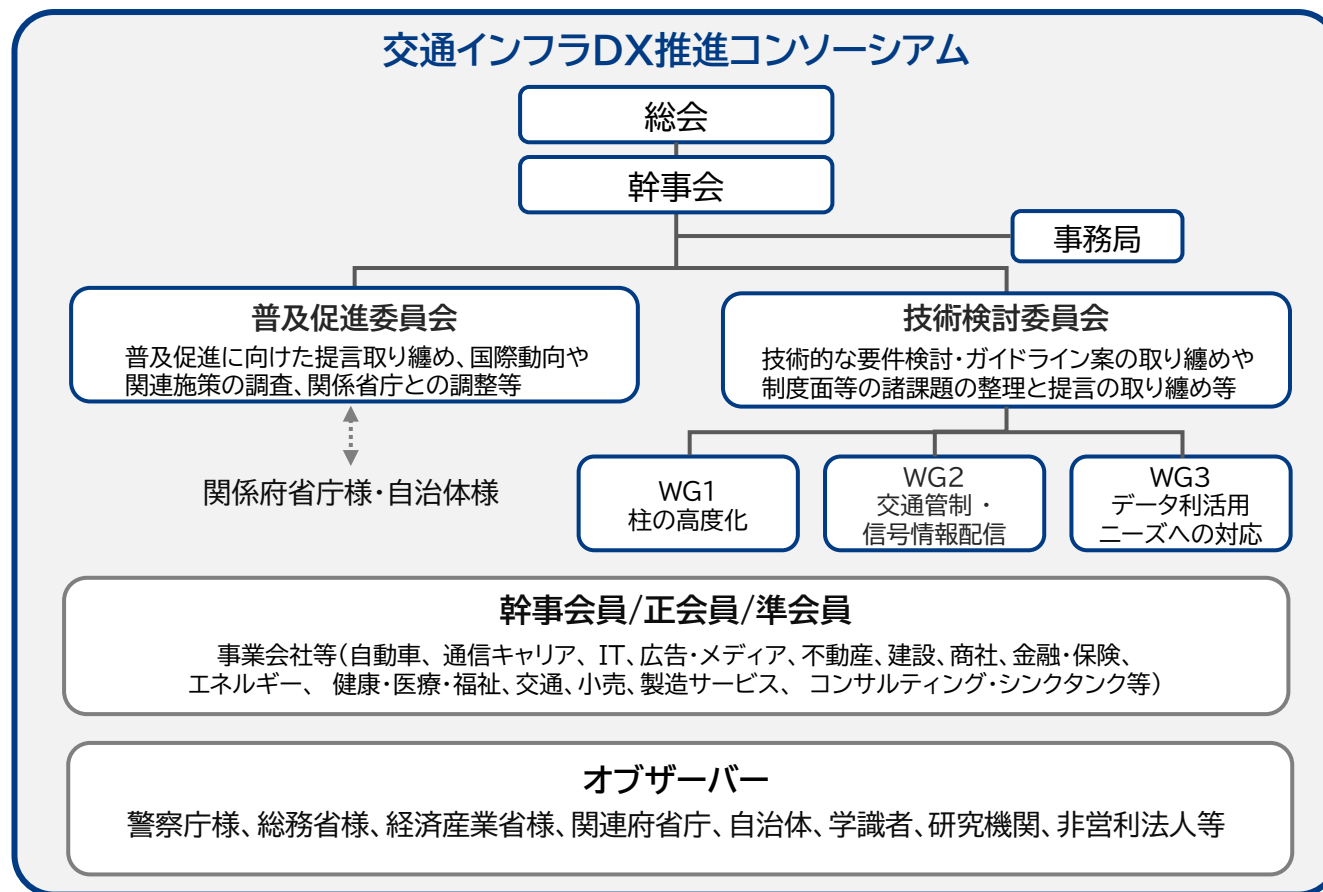
交通インフラのDX推進に向けて、以下の活動を行います。

- ① 事業化および普及促進に向けた提言取り纏め、国際動向や関連施策の調査、関係省庁との調整・連携等
- ② スムーズな普及に向けた以下テーマについての技術的な要件検討、ガイドライン案の取り纏め、制度面等の諸課題の整理等
 - ・ 柱の高度化
交差点等の公共空間の柱の高度化による柔軟性・拡張性を持ったDX基盤の整備に向けた検討・整理
 - ・ 交通管制・信号情報配信
交通管制・信号情報配信の活用に向けた検討・整理
 - ・ データ利活用ニーズへの対応
交差点等の公共空間デジタル化により、新たに得られるデータの利活用ニーズに対応した新サービス・アプリケーション高度化・プラットフォーム基盤の整備に向けた検討・整理

枠組みと体制

- PRISM信号5G社会実装WGにて、実現に向けて深堀が必要とした3つのテーマ(柱の高度化、交通管制・信号情報配信、データ利活用ニーズへの対応)を中心に、普及促進委員会と技術検討委員会を設置し、産官学連携での検討を行い、社会実装に向けた取り組みの加速化を図る。

交通インフラのDX推進に向けた枠組み



連携

関連団体の活動や関連施策

※会員を構成する業種等や連携先は今後変更となる可能性があります。

活動内容と会員別参加可能組織

会員別参加可能組織と内容

◎: 主宰、○: 参加

※: オブザーバー参加

組織	内 容	開催 頻度	参加				
			幹事会員	正会員	準会員	オブ ザー バー	
総 会	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹事会の決定事項、委員会・WG活動報告の承認 等 ● コンソーシアムの運営に必要な事項の承認 等 	年1回	◎	○	○	○	
幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ● 重要事項に係わるコンソーシアムとしての意思決定 ● コンソーシアムの運営に係わる事項の原案策定 ● 総会への提案と幹事会より委託を受けた事項の検討の取り纏め 等 	随時	◎	—	—	—	
委員会	普及促進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 各テーマの事業化及び普及促進に向けた検討・提言取り纏め ● 国際動向や関連施策の調査及び関係性の定義 ● 関係省庁・自治体との調整・連携 	随時	◎	○	○	※ 適宜参加
	技術検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● スムーズな普及に向けた技術的な要件検討、ガイドライン案取り纏め ● 制度面等の諸課題の整理と提言の取り纏め 	随時	◎	○	○	※ 適宜参加
	WG1 柱の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ● 柱の高度化に向けた要件検討、ガイドライン案作成 ● 制度面等の諸課題の整理と提言検討 	随時	◎	○	—	※ 適宜参加
	WG2 交通管制・信号情報 配信	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通管制・信号情報配信の要件検討、ガイドライン案作成 ● 制度面等の諸課題の整理と提言検討 	随時	◎	○	—	※ 適宜参加
	WG3 データ活用ニーズ への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 交差点等の公共空間デジタル化により、新たに得られるデータ活用ニーズの深掘り ● データの活用ニーズに応じたアプリケーション及びプラットフォームの要件検討、ガイドライン案作成 ● 制度面等の諸課題の整理と提言検討 	随時	◎	○	—	※ 適宜参加

会員制度

会員種別/会員資格 ※法人単位での登録を想定

種別	入会金	年会費	入会資格	主な会員特典	
				各種委員会	
				参加	主宰
幹事会員	30万円	40万円	事業会社等 ※想定業種 自動車、通信キャリア、IT、広告・メディア、 不動産、建設、商社、金融・保険、エネルギー、 健康・医療・福祉、交通、小売、製造サービス、 コンサルティング・シンクタンク等	○	○
正会員	30万円	20万円		○ 委員会・WG 共に可能	×
準会員	無料	無料		○ 委員会のみ 可能	×
オブザーバー	—	—	中央省庁、地方自治体、大学、 研究機関、非営利法人等	○	×

令和4年度 活動計画案

- 普及促進委員会・技術検討委員会を中心に、各WG活動で具体検討を推進する予定です。



※スケジュールは今後変更となる可能性があります。

01. コンソーシアム設立の背景

02. コンソーシアムの概要

03. FAQ



FAQ(1/3)

■ 入会関連 よくあるご質問

Q 入会方法を知りたい

A ホームページの「入会申し込みフォーム」タブより必要事項記載の上、お申込みください。

Q 入会に必要な情報を知りたい

コンソーシアムの概要や会員区分等については「お知らせ」の「入会をご希望の方へ」にPDF資料を掲載しております。

A 入会前にご確認頂く規約等については「入会申込フォーム」に下記3点のPDF資料を掲載しております。
(コンソーシアム規約、会員規定、競争法コンプライアンス指針)

Q 1社から何名まで参加可能か

A 現在上限は設けておりませんが、多い場合は人数を絞っていただく可能性がございます。

Q 当社は入会可能か

入会可否につきましては、入会申請後、確証ご提出の上、幹事会にて入会審査を実施し審議いたします。

A 入会手続きや入会承認については、ホームページ掲載の会員規定に記載しております。
まずは、会員規定をご確認いただき、入会申請を行っていただければと思います。

Q 入会のメリットを知りたい

委員会やWG活動の中で、普及に向けた提言やガイドライン案を取り纏め、関連するステークホルダーの方々との調整をしていくことで、今後のビジネスの参考としてお役立て頂けると想定しております。

また会員区分に応じ、委員会やWG活動において各社からご提案頂いたり、情報収集や情報交換等が可能と考えております。

FAQ(2/3)

会員種別 よくあるご質問

Q 会員種別によっての違いと費用について知りたい

A 本資料の13、14ページや「入会申込フォーム」に掲載している「会員規定」の附則2に記載しております。

Q 入会金・年会費等はいつ支払えばよいか

振込期限は、入会申請月の翌々月末までとなります。

請求書発行までの段取りは下記となります。

- A
- ・お申し込み後、返信メールにて、確証提出依頼・活動の希望募集させていただきます。
 - ・申請月最終日までに確証をご提出いただきます。
 - ・それをもとに幹事会にて入会審査を行い、申請月の翌月5営業日以内に審査結果が承認された後、請求書をご送付いたしますので、ご案内に従ってご対応お願い申し上げます。

Q 途中で会員種別を変更することは可能か

A 途中で会員種別を変更することは可能でございます。(正会員、幹事会員への変更も可能)

FAQ(3/3)

委員会・WG関係 よくあるご質問

Q 委員会・WGの活動マイルストーンを教えてください

本資料の15ページに今年度の活動計画を記載しております。

- A 今年度末までに、事業モデル案・ロードマップ案の作成、制度・運用上の課題の整理を行うことを目標に委員会・WG等で検討していく予定となっております。
詳細に関しましては、今後コンソーシアム内で検討してまいります。

Q 委員会・WGの活動頻度・活動場所を教えてください

本資料の15ページに今年度の活動計画を記載しております。

- A 委員会は2.5か月に1回程度の頻度で2022年度末までに3回の実施を予定しております。
各WGは1.5か月に1回程度の頻度で年度末までに4回の実施を予定しております。
なお、活動場所につきましては、オンライン開催を中心と考えております。
※スケジュールは今後変更となる可能性がございます。

Q 当社はどのWGに参加するのが良いか

貴事業領域に合致するWGか否かについては、本資料の13、14ページや設立発表会のアーカイブ動画をご覧くださいご検討いただきますようお願いいたします。

- A 各WG(WG1～WG3)に関しては、幹事会員・正会員のみのご参加となっております。従って、正会員をご希望の場合、入会条件をご確認の上、ご判断いただければと存じます。